

つ・な・ぐ

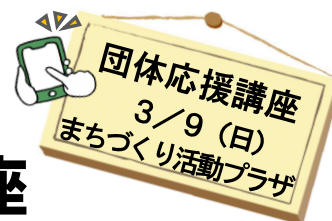


講座開催報告

広報力アップ！ ツカエル写真の撮り方講座



集客力・広告
魅力的な写真の撮り方
田中ルナ



何枚撮っても、どれもパツとしない・・・
SNSにアップしたものの「これじゃ伝わらないかも・・・」
これらは、日頃、団体のみなさんから聞こえてくる声。
今回の団体応援講座は、こんなお悩み解決のヒントになればと企画しました。

今回、講師としてお迎えしたのは、柏市在住インスタグラマーの田中ルナさん。SNSコンサルタント、司会、通訳を務めるなど多彩な活動、お仕事振ります。また、趣味は「着物でお出かけ」とだけあって、この講座にも春らしい淡い色のお着物で登壇。参加者36名の気持ちをいきなり引き寄せました。

■撮り方講座のはじめの一步は、グリッド線の活用。知っている方はさらに理解を深め、初めて聞いたという方は「撮りたいもの(人)を線と線の交点に合わせれば良いのね！」とうなづく、そんな場面からこの講座は始まりました。

■次にポートレートモードの活用法。ぼかしをうまく利用するだけで画像は見違えるように。実際の画像を見ながら、普通に撮ったもの、ポートレートモードで撮ったものを見比べて、さらに納得の瞬間でした。

■最後に編集について。「とにかく明るく！彩度も高めに！」。撮ってそのままの画像を使うのではなく、ここでひと手間かけることがポイントとのこと。具体的にビフォー・アフターの写真が示されたことでより

一層、理解が深まったようです。会場からは「明るくするだけで、こんなにイメージが変わるなんて！」との声が多く聞かれました。

最後は質疑応答タイム。参加者から寄せられた質問(人物、顔の撮り方やぼかしの処理について、SNS(特にInstagram)について)のひとつひとつに丁寧に答えられました。

この講座は、写真や動画が広報の有効なツールだと知っているけれど、思い通りの写真が撮れず困っている方を対象として開催。参加者の半数近くは、SNSを活用しているとのことでしたが、その反応が薄いと感じている方も少なくないようです。このような悩みを抱えた方々にとって、高度なスキルというより、むしろ基本、なおかつ具体的な学びは「私にもできそう！」といった“やる気”につながります。市民活動団体にとって、上手に写真を撮ることが目的ではなく、広報、さらには活動に活かしてこそその写真。たくさんの質問に対する答えもヒントとなり、やる気を後押しする講座となりました。



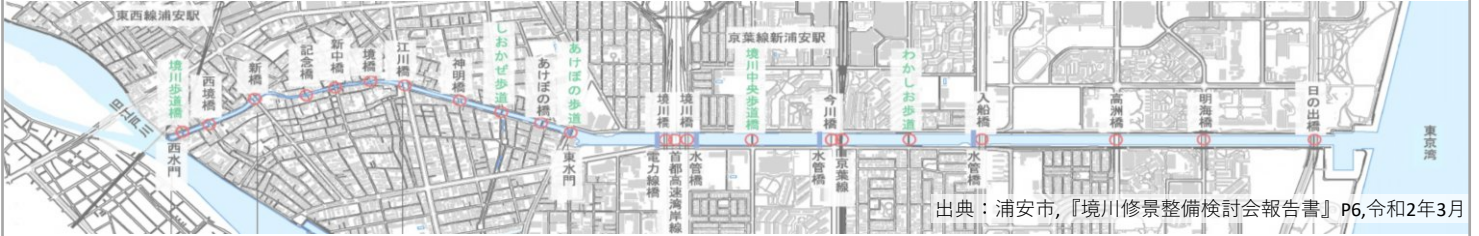
参加者の声



- ・具体的な質問に答えていただいたところがとても良かったです。
- ・カメラ機能をあまり理解していなかったので勉強になった。
- ・インスタ向きの写真・動画に特化した撮り方のヒントがよくわかった。
- ・代り映えしない写真の修正方法がわかった。
- ・早速イベントの告知に使えそう

面白いこと 始まりそう！ 「境川かわまちづくり」

三方を水辺に囲まれた浦安、その真ん中を流れる境川。
水辺の環境は、私たちにとって大切な資源。
この境川ではじまった「かわまちづくり」について、
浦安市道路整備課の広瀬陽さんにお話を伺いました。



出典：浦安市、『境川修景整備検討会報告書』P6,令和2年3月

「かわまち」って何？

「かわまち」とは、川を中心に人々のつながりを生み出しながら、まち全体を活性化させる取り組みのことです。川の整備だけでなく、まちづくり活動を広げていくことを目指しています。

境川は、浦安市の元町・中町・新町を流れる、いわば「市の背骨」ともいえる重要な川。浦安の中心からまちづくりを進めるための要となっています。

境川がかわまちづくり支援制度に登録されるまでの道のりは？

境川では、令和3年度から地域住民や関係団体が協力して「かわまち」の検討をスタート。令和4年度には「境川かわまちを進める会」での検討・企画により、さまざまな実験的なイベントが行われました。



▲市民参加による「水質調査」

令和6年8月には、国土交通省が定める「かわまちづくり」支援制度に登録され、令和7年4月からは、15年間の長期計画と5年ごとの短期計画に基づいて、本格的に取り組んでいきます。

境川かわまちづくりの特徴は？

主に3つの特徴があります。

1. “人のつながり”を重視
護岸工事などの整備中心ではなく、人と人とのつながりを大切にしている点。
2. 空間を工夫して活用
境川には河川敷がないため、公園や緑道、民間の駐車場なども活用しながら、地域全体で活動を行うという独自のスタイル。
3. 全川を対象とした計画的整備
境川は市内全域を流れるため、全国的にも珍しい、全川を対象とした整備が必要。そのため、長期計画での取り組みが行われています。

行政の役割と広瀬さんの想いを教えてください

行政が中心となるのではなく、支援役として、地域の活動を後押しする立場に立ちたいと考えています。

団体と団体をつなげたり、活動の舞台を整えたりすることで、市民が主役となるまちづくりを支えていきたいです。

また、人事異動で担当者が代わっても活動が継続できるように、道路整備課だけでなく他の課とも連携し、関係者全体の理解を深めていきたいと思っています。

これからの展望は？

現在「境川かわまちを進める会」の参加者は関連団体が中心ですが、今後はより多く市民の皆さんも関わられるような活動を考えています。たとえば、SNSでの情報発信を一緒に考えたり、写真・映像の記録を担当してもらったりと、さまざまな関わり方があります。また、地域の企業とも連携を深め、活動の幅をさらに広げていきたいです。

浦安の中心を流れ、周辺の緑地や公園にも恵まれている境川ならではの「かわまちづくり」の特徴を伺うことができました。市民の皆さん一人ひとりが、かわとまちをつなぐ担い手です。

ぜひ「境川かわまちづくり」の一員として、できることから関わってみませんか。

(市民ライター 武田 めぐ)



▲キッチンカーやライブイベントを組み合わせた「さくらカフェ」



▲大型のボートを体験できる「MxSUP体験」

【境川かわまちを進める会関係団体】

- 浦安水辺の会
- みどりのネットワーク
- NEXT30
- 浦安市カヌー協会
- うらやす景観まちづくりフォーラム
- 境川であそぼう実行委員会
- ふるさと浦安かっぱ村
- 境川にこいのぼりを泳がせる会
- 明海の丘夏まつり実行委員会
- 第8区自治会
- 猫実東自治会
- 堀江四丁目自治会
- 堀江三丁目自治会
- タイムレストタウン新浦安自治会
- パークシティグランデ新浦安自治会
- 浦安観光コンベンション協会
- 郷土博物館



作成者 (グラフィックレコーディング: 関美穂子)

境川かわまちづくり登録記念イベント 開催!

3月29日(土)・30日(日)、市民に境川かわまちづくりの取り組みを知ってもらうための登録記念イベントが開催されました。29日のキックオフイベントはあいにくの天気ですほとんどのイベントは中止。そんな中、唯一開催されたのが「学生向けまち歩き&ワークショップ」でした。

このワークショップを企画された「うらやす景観まちづくりフォーラム」代表の浅川潔さんに、まち歩きの様子やシンポジウム、さらに境川のこれからについて、お話を伺いました。



III カサを差しながらまち歩き 「とにかく寒かったなあ」

「若い人たちの意見を聞いてみたい」、これが今回のまち歩き&ワークショップの主旨です。企画したうらやす景観まちづくりフォーラム(以下景観フォーラム)が市民活動団体「シビックテック・ウラシマ」の協力(まち歩きアプリの提供とマップづくりのサポート)を得て実現。浦安市が包括的連携を結んでいる千葉工業大学に呼びかけ、都市環境工学科の学生13名が参加して行われました。

真冬並みの天気の中、西水門から境川上流域を写真を取りながらまち歩き、そして東水門へ。その後、郷土博物館にてワークショップ。「水辺に降りられる」など境川の良い点を発表し、さらに境川の今後について、もう少し改良すると良くなる箇所、境川でこんなことができると良いなと思うことについてアイデア出し、意見交換を行いました。

翌日のシンポジウムでは専門家による基調講演、他市の事例、パネルディスカッションに続き、学生によるワークショップの報告、そしてディスカッションが行われました。

今回のまち歩き&ワークショップを開催してあらためて思うことは、「スマホを活用してのワークショッ

プは若い世代だからこそできたもの、また、高い専門性をもつ学生が参加したことでより話し合いが深まり充実したワークショップになったことです。そして「若い人たちは本当に素晴らしいですね」とお話しは続きました。境川でのフィールドワークを通して、若い世代の意見や視点を集める貴重な機会となりました。

III 境川かわまちづくりにおける うらやす景観まちづくりフォーラム の役割

境川かわまちづくりで示されている取り組み分野は「水・自然環境」、「歴史・文化」、「水辺・水面利用」。景観フォーラムは「歴史・文化」の分科会に入っています。境川かわまちづくりの取り組みを地域に根ざしたものにしながら横にも広げていくためには、境川の景観としての美しさも改善していく必要があります。そこで、景観フォーラムは、境川が市民から愛され、より多くの人が集うような水辺景観になるための取り組みをしています。シンポジウムでは「境川学」というアイデアが挙げられました。まずは境川についての知識を増やすことで親しみが湧くので、境川についてもっと知ってもらうために情報を発信していきたいと考えています。

III これからの境川の可能性や かわまちづくりに向けての方向性

景観フォーラムは、これからも境川のまわりをまち歩きしながら境川の魅力を体感できるような機会を作っていきます。その中で、改善できるところを発見したら行政にフィードバックし、まちづくりにつなげていきます。景観フォーラム代表の浅川さんは「川があってもそこに舟がないというのは景観としてもまちとしても寂しいものです。なので、舟の浮かぶ境川という景観をつくっていきたいです。境川はかつて人々の生活や生業の場でした。境川の周辺を散歩したりゴミ拾いをする中で、境川を身近に感じる人が増えていくといいなと思います。興味を持つ最初のきっかけとしてイベントの開催は大事ですが、境川との関わりが生活の一部になるような施策も提案していきます」と力強く語られました。

かわまちづくりの取り組みを通して、境川が市民にとっての居場所のひとつとなるような日常や暮らしになくはない存在になるといいですね。

(市民ライター 西橋友理)



令和7年度市民活動補助金交付事業決定

地域で抱える社会的課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、市民活動団体が、自ら企画立案し実施する公益性の高い、団体の自立・発展に効果的な事業について、市はその事業費の一部を補助しています。令和7年度市民活動補助金事業は以下のとおりです。

【自立促進事業補助金】（はじめの一步）

事業名：医療的ケアのある子もない子も
「みんないっしょのよみきかせ」
団体名：パルレ

【活性化事業補助金】（ステップアップ）

事業名：本物の学びに ステップアップ♪
団体名：こんな学校にしたい会



センター利用承認の申請について

令和6年度の市民活動センターの利用承認期間が令和7年6月30日に満了となります。引き続き施設のご利用を希望される場合は、利用承認手続きを行ってください。

提出締切：5月30日（金）

※提出書類等、詳細はセンターホームページにてご確認ください。

若者のための夏休みボランティア2025 今年も開催します！



若者がボランティアを体験する大切な機会となっている「若者のための夏休みボランティア」。今年も約30のプログラムに若者たちが参加します。みなさん、ぜひ応援をお願いします！

■ガイダンス：7月19日（土）14時～16時
浦安市文化会館小ホール他

■実施期間 7月20日（日）～8月31日（日）

受け入れ団体のみなさんは、説明会にもご参加ください。

■7月12日（土）10時～11時30分

まちづくり活動プラザ 第1多目的室

備品ロッカーの利用申込みについて

市民活動センターでは、市民活動センター登録団体を支援するため、活動に必要な備品などを一時保管しておくための備品ロッカーを貸し出しています。

申込期間：6月1日（日）～6月20日（金）
申込方法：直接、メールにてセンターまで
メール申込の際は団体名、担当者名を記載
（抽選結果は申込みのあったメールにお知らせします）
申込多数の場合は抽選となります。

備品ロッカー

サイズ：高さ56cm×幅29cm×奥行き49cm
（鍵付き）

貸出数：27 個

利用期間：令和7年7月～12月
（6ヶ月）



団体応援講座のご案内

センターでは、みなさんの活動をサポートするため、さまざまな個別のミニ講座を開催しています。ぜひご利用ください。

講座内容：ポスター・チラシ・リーフレット作成
センターホームページの活用法など

実施方法：個別対応

日時はお申し込み時に調整

申 込：電話、Eメールにてセンターまで

※1回90分まで

センター日誌より

センターの受付窓口に来てきたのは、公園ボランティアをなさっている団体さん。話を聞くと、市民まつり（植木まつり）に参加した折、二人の女性がボランティアを買って出てくださいましたとか。「とても助かります！」と嬉しそうにお話ししていたのが印象的。今年の市民まつりはお天気もまずまず、大変な賑わいでした。やはり、外に出て人目にふれること、活動をアピールすることはとても大切なことですね。



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター
2025年5月15日（年3回発行）

〒279-8501千葉県浦安市猫実1-1-1(市庁舎10階)

TEL: 047-305-1721 FAX: 047-305-1722

E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp

URL <https://u-shimin.genki365.net>

